

【T 日本料理店】 - behavior in the windmill -

2016.4 - 2016.8

割烹つかさ @ 兵庫県西宮市

設計・監理 / oohk | 菊池甫一級建築士事務所 菊池 甫
アーキディレクション / 山本展久アトリエ荒川企画室 山本 展久
施工 / bricoleur 東郷 哲史



風車のふるまい

【T 日本料理店】は、兵庫県西宮市にある日本料理店の改修計画である。
敷地のある地域は、大阪と神戸の中間に位置し、両地域のベッドタウンとしても機能している。
また当地は、京都で日本食の修行を続けていたクライアントの生まれ故郷でもある。
日本料理店としての格式を保ちつつ、地域に根ざし、人々に開かれた場所をつくる事がこの建築に求められた。

建築は、明確にゾーニングされた客席スペースと調理スペースの2つの空間で構成されていて、
両空間をまたぐように風車型の大きな木製家具が配置されている。
木製家具には、カウンター・テーブル・調理台・収納庫といった複数の機能が与えられている。

料理人と客は、この風車型の家具に沿うよう行動しながら、料理を調理または味わい、会話を楽しむ。
調理に関わる機能は、店舗中央付近に集約されていて、すべての席から、調理の様子を確認することが出来る。
調理する料理人が、さながら舞台上立つ役者のように振る舞えるよう空間を検討した。
また、半円形の店内は、座る位置により、その性質を異にする。
店内に入った客は、扇形に広がるカウンターの好きな位置に腰かけることが出来る。
外の景色が良く見える席、料理人の手さばきがよく見える席、会話をゆっくりと楽しめる席・・・
お気に入りの席を見つけることも客の楽しみの一つになればと考え、配置を決定した。

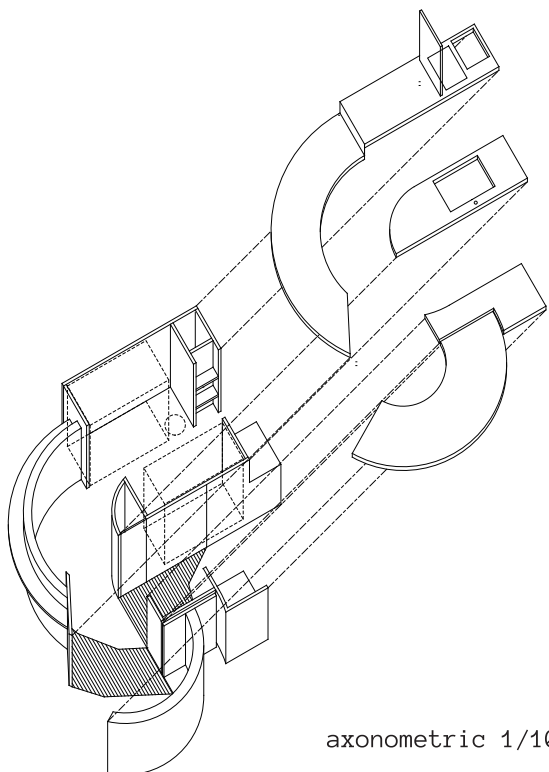
客と料理人の双方が主体的に振る舞える空間を作ることが、今回の提案、一番の狙いである。

風車が、そこにある空気を心地よく攪拌するように、
風車型の木製家具によって、両者の振る舞いが混ざりあい、影響し合い、
より豊かで刺激的な時間をつくり出せればと考えた。

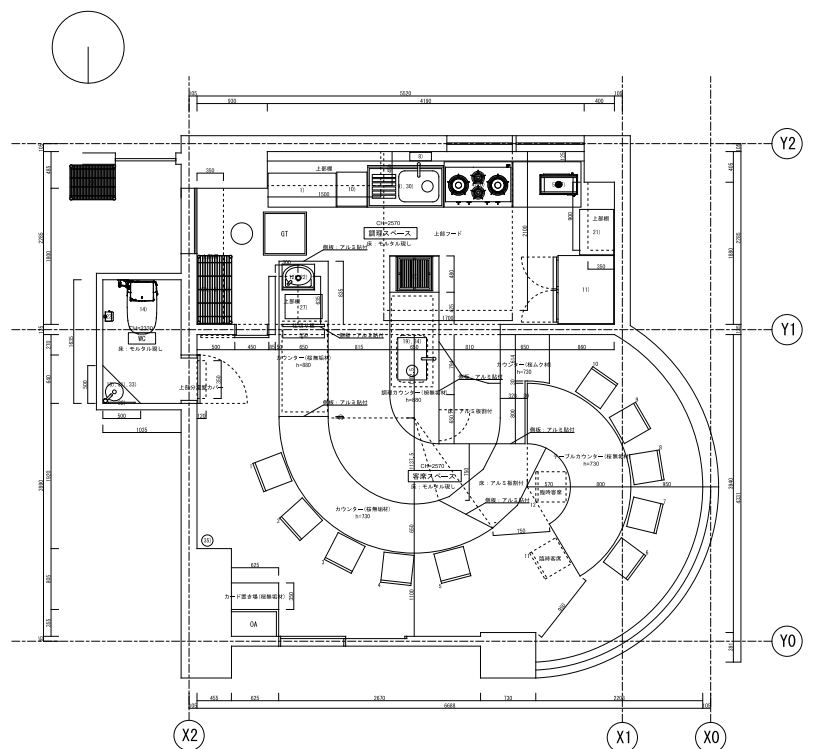
店内西側、交差点に面した円形の外壁には、大きな窓が設けられている。
大きな窓によって、町の風景が店内に映し込まれる。
と、同時にこの窓は、かいがいく働く料理人の姿や食事を楽しむ客の姿、そして料理人と客の豊かな
やりとりを、風景として西宮の町に映し出している。

店と町の双方にとって価値のある、豊かな関係性(ふるまい)を作り出す。
そんな関係性をつくるのが、この場所に根付くきっかけをも作ってくれるのではないかと、私たちは考えた。

(菊池 甫, oohk | 菊池甫一級建築士事務所)



axonometric 1/100



plan scale 1/100